

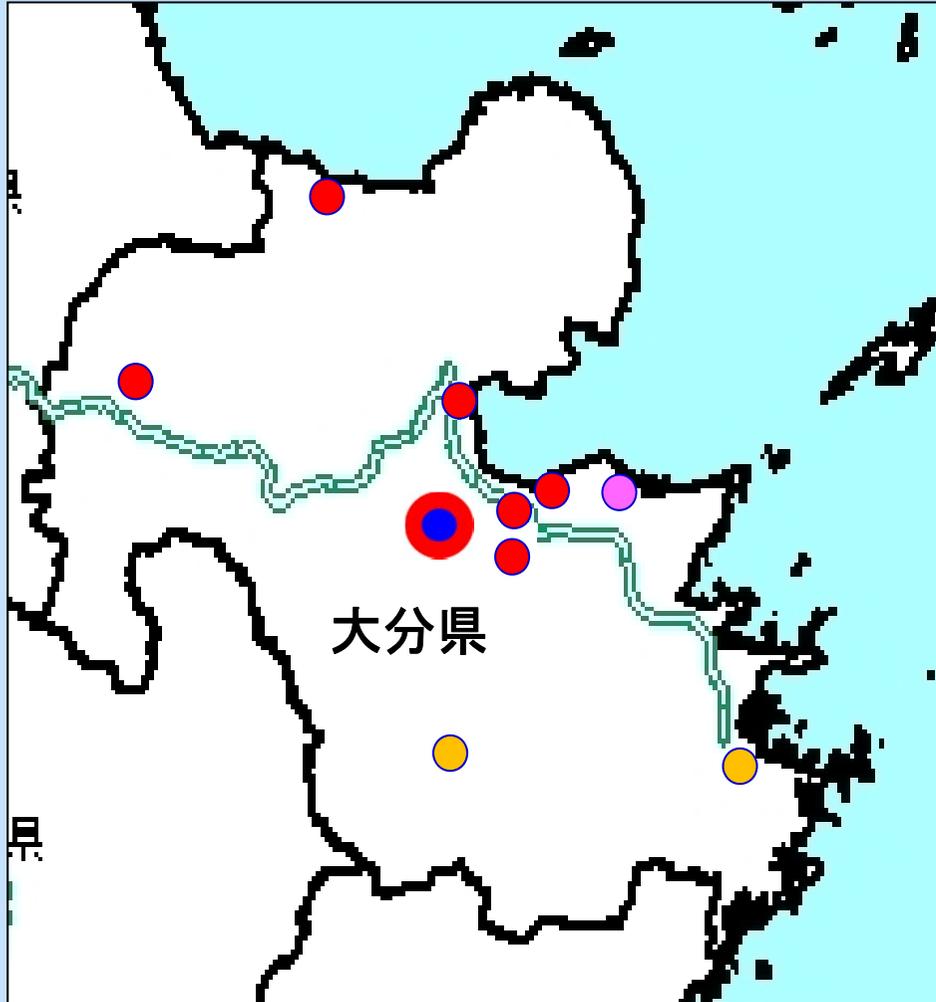
# 地域の療養冊子を作成する 連携・コミュニケーション

大分医師会立アルメイダ病院 岡田 紀志子

国立病院機構別府医療センター 井上 祥明

大分大学医学部附属病院 嶋川 由紀

# 大分県内がん診療連携拠点病院



## 大分県がん診療連携拠点病院

- ・大分大学医学部附属病院

## 地域がん診療連携拠点病院

- ・大分県立病院
- ・大分赤十字病院
- ・別府医療センター
- ・大分県済生会日田病院
- ・大分市医師会立アルメイダ病院
- ・中津市立中津市民病院

## 大分県がん診療連携協力病院

- ・大分医療センター

## 大分県二次医療圏における 中核的な病院

- ・健康保険南海病院
- ・豊後大野市民病院

# 無知とは恐ろしい 簡単に納得

- ・今年度、がん相談支援室に異動
- ・前任者からの申し送りで頭に残ったフレーズ「がんに関することはどんな相談でも誰からの相談でも受けるの」
- ・沖縄がんサポートハンドブックの表紙の美しい絵と「今年は大分でも、地域のサポートブックを作ることになる」という言葉



ああ、これ作るんだ！  
納得

# 大分県、遅れてる！大変だ！

5月13日「都道府県がん診療連携協議会の情報提供・相談支援部会」で、またまた頭に残ったフレーズ



オブザーバーコメント「地域の療養冊子を策定していない県が  
いまだにあると聞いているが、すべての県で策定し、必ず、患  
者の手に届けてください」

「全国で23県が策定済み、残りの県も何らかの形で取り組み  
をしている。」



## なんと沖縄第3版！ 慌てた！

# 大分県・地域がん診療連携拠点病院 がん相談支援室情報交換会

- \* 第1回(H20年6月)～第19回(H26年1月) 3回／年の開催(自主参加)  
5月(活動計画) 9月(中間評価) 2月(評価・課題)
- \* H21年度、H22年度、H24年度は、持ち回り開催
- \* 互いの施設見学(ポスター、リーフレットの配置、案内板、相談室内、緩和ケア病棟etc)
- \* 参加者(20～22名)  
各拠点病院のがん相談支援室実務者2～3名  
(MSW, 看護師, 保健師、臨床心理士)  
大分県福祉保健部健康対策課健康増進班(1～2名)
- \* テーマ
  - ・都道府県がん診療拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会の報告
  - ・相談記録 ・相談業務 ・患者会との交流 ・患者サロン運営・ピアサポーター
  - ・院内外の広報 ・診療機能の情報収集 ・がん相談の事例検討 ・在宅支援
  - ・がん情報サービスHPの活用 ・共通の相談データベース・院内連携
  - ・セカンドオピニオン外来 ・研修報告・就労支援について・地域連携パス
  - ・地域の療養冊子作成について ・講演会のお知らせ ect.

## 慌てたところで、どう動いたか

5月30日に大分県がん診療連携拠点病院相談支援室情報交換会で協議会部会の報告を行った。大分県健康対策課の方も出席していたため、大分県での地域の療養冊子策定の方針について確認した。



今年度事業計画に入っていない

またまた慌てた

「そんなはずじゃあなかった。なんとかしなきゃ。」  
センター長、副センター長に相談。情報収集した結果



健康対策課に相談に行こう

何とかなるよね

## 健康対策課で何を相談したか

- ・地域の療養冊子に関する取組みについて、これまでの経過の共有
- ・今後の方向性の確認(もちろん策定するという前提で)
- ・特に、予算確保していただきたいことを伝えた。



話が進むと思った

- ・そんな動きがあったんですね。
- ・正しい情報を届けるツールとして冊子が一番良いのでしょうか？
- ・県民の税金を使うのだから吟味が必要。
- ・患者さんのためという目標は同じなんですけどね

思いがけない反応

本当に目標は同じ？

あたりまえじゃなかった？



目標が違ったの？

分かり合えてると思っていたけど違ったの？

今年度の目標？・・・策定の方向性すら見失った？

なんだか重荷・・・何とかならない感じ(役割果たせそうにない)

やる気なくす・・・



情報収集しましょう。



# 気分を変えて・・・RFL大分

各拠点病院が  
チーム参加



大分県健康対策課  
もチーム参加

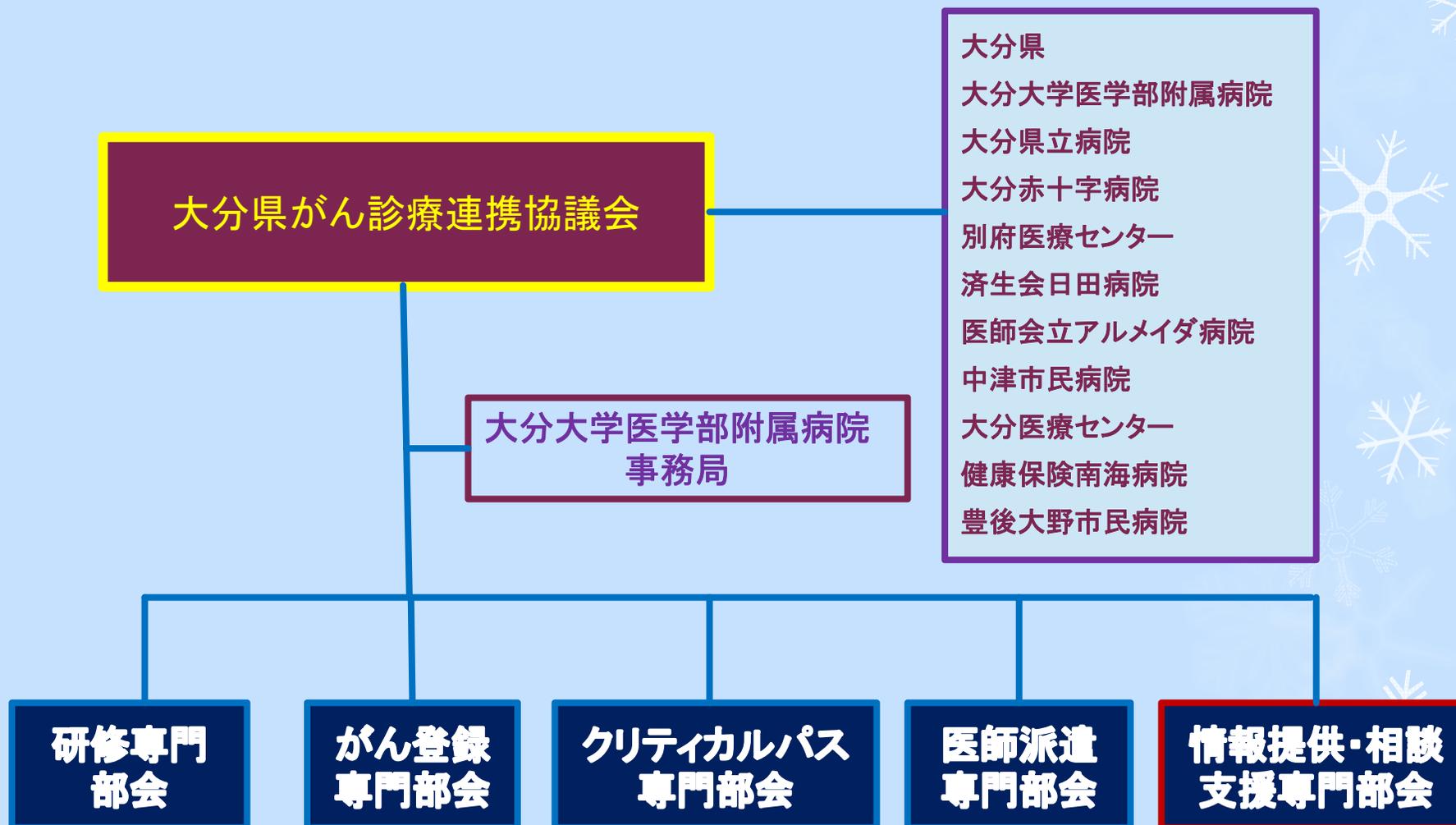
## 25年度2回目の相談支援室情報交換会

- ・大分県内の相談支援実務者と健康対策課の方と経過を確認
- ・昨年度の話し合いの経過と今年度5月の情報交換会
- ・7月に健康対策課の方とお話した内容の伝達と今後の方向性
- ・(地域に情報発信するツールの検討から行っていく。できれば大分県がん診療連携拠点病院連携協議会の下部に相談支援部会を設置する)
- ・それまでの準備として、実務者も地域の療養冊子についての情報収集をする(11月13日の研修参加について検討依頼)



- 10月に開催された大分県がん診療連携病院連携協議会で情報提供・相談支援部会の設置が承認された。
- 大分県の相談支援実務者2名が研修参加予定となった

# 大分県がん診療連携協議会



# 「地域の情報発信とがん患者支援」

11月13日研修当日、大分空港ロビーで大分県健康対策課の方にお会いした。

今日の研修に参加します。

それだけでも嬉しい！



そしてGW

各県の現状を情報交換し、今後の情報発信についてディスカッションした。答えは出なかったが…

目標は同じです。現場と行政と得意分野が違うだけ。

大収穫

# 何が明確になったか。 なぜ進まなかった？

昨年度、地域の療養冊子を作成するという目標がしっかり共有できていなかった？

目標は共有できていたのかもしれないけれど、関係者の中で、どのように作成するかという認識に差があった？

目標も作成に対する認識も共有されていたけれど、担当者が変わったことが影響した？

## 今後の課題

あたりまえのことだけど、目標は何かを明確にする(なぜ情報発信が必要なの？誰のために？どんな方法で？いつ？何を？)

実はここがまだ明確になってない！

関連する人とのコミュニケーションをとる(目標の共有)

誰と？作成にかかわるみんな

とにかく、動き始める(大分県の関係者の気持ちを一つに)  
人が変わっても動き続ける組織作り

動き始めてとれる連携もあるらしい

# 大分の特徴ある治療・検査の紹介

大きな特徴がないところが特徴(標準的なことをしっかり)

新薬の開発に力を入れている

